

# 清水町 内水ハザードマップ



## 内水ハザードマップについて

清水町では、想定し得る最大規模の降雨により道路側溝や水路などを流れる内水が氾濫した際の浸水域や浸水深を示した内水浸水想定区域図を作成し、それをもとに内水ハザードマップを作成しました。風水害への備えのためにご活用ください。このハザードマップは以下の条件で作成しています。

- 時間最大降雨量：147mm/h
- 規模：想定し得る最大規模の降雨
- 前提と異なる降雨を超える規模の降水、外水氾濫（洪水）による浸水想定結果は考慮していません

清水町 令和8年3月

## 内水氾濫と外水氾濫（洪水）の違い

### 内水氾濫

その場所に降った雨水が、道路側溝や水路などでは処理しきれなくなったときや、川の水位が高くなり雨水を排水できなくなったときに、マンホールや雨水ますなどから溢れてしまう現象です。

### 外水氾濫（洪水）

大雨で川の水量が増え、水かさが増して堤防を越えたり、堤防が決壊させたりして川の水が外に流れ出てしまう現象です。

### 洪水ハザードマップについて

内水ハザードマップとは異なり、洪水によって想定される浸水域や浸水深などの情報をまとめたマップで、浸水が想定される区域の皆様は速やかに避難していただくために作成したものです。

清水町防災ハザードマップ（洪水ハザードマップ）  
清水町では、洪水、土砂災害、地震、噴火について記載している防災ハザードマップも作成しています。防災ハザードマップは、町ホームページで確認することができます。

清水町防災ハザードマップ 検索  
https://www.town.shimizu.shizuoka.jp/anzen/ anzen0014.html

### 雨の強さと降り方

降っている雨を観察することで、大体の雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難することができるよう、雨の降り方とその状況を知っておきましょう。

1時間雨量 (mm)	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
10以上～20未満	●どしゃ降り。 ●地面からの跳ね返りで足元がぬれる。 ●雨の音で話し声が良く聞き取れない。	●どしゃ降り。 ●傘をさしていてもぬれる。 ●ワイパーを速くしても見づらい。	●バケツをひっくり返したように降る。 （ローゴと降り続く） ●傘は全く役に立たなくなる。 ●車の運転は危険。	●溝のように降る。 ●傘は全く役に立たなくなる。 ●車の運転は危険。	●息苦しくなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。
状況					

## 風水害時に発令される避難情報と警戒レベル

風水害時には、町が発令される避難情報を発令します。発令される情報を正しく理解し、とるべき行動に結びつけることで、危険から身を守りましょう。

※令和8年5月下旬から運用予定とるべき避難行動

警戒レベル	避難情報	とるべき避難行動
警戒レベル5 【町が発令】 <b>緊急安全確保</b>	【新たな防災気象情報】 大雨特別警報、氾濫特別警報、土砂災害特別警報、高潮特別警報	<b>命の危険にたち安全確保！</b> すでに災害が発生している状況 <b>命を守るための最善の行動を！！</b>
警戒レベル4 危険な場所から 全員避難	【新たな防災気象情報】 大雨危険警報、氾濫危険警報、土砂災害危険警報、高潮危険警報	<b>すみやかに安全な場所へ全員避難！</b> 移動が危険と思われる場合は、近隣の安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難！
警戒レベル3 危険な場所から 高齢者等は避難	【新たな防災気象情報】 大雨警報、氾濫警報、土砂災害警報、高潮警報	避難に時間のかかる <b>（高齢者 障がい者 乳幼児 妊婦）</b> の方などと、その支援者は避難！ その他の方は、避難準備！
警戒レベル2	【新たな防災気象情報】 大雨注意報、氾濫注意報、土砂災害注意報、高潮注意報	自らの避難行動を確認！
警戒レベル1	【新たな防災気象情報】 早期注意報	災害への心構えを高める！

### 避難行動について

避難行動には、自宅外の安全な場所へ移動する「立退き避難」と、自宅の2階など屋内でより安全な場所へ移動する「屋内安全確保」があり、地域や状況によって避難の方法は異なります。特に、大雨や夜間における避難の場合は、自宅外への避難途中に被害にあう可能性があるため、避難する状況に応じて、最も適切な行動をとりましょう。

#### 立退き避難（水平避難）

避難場所など

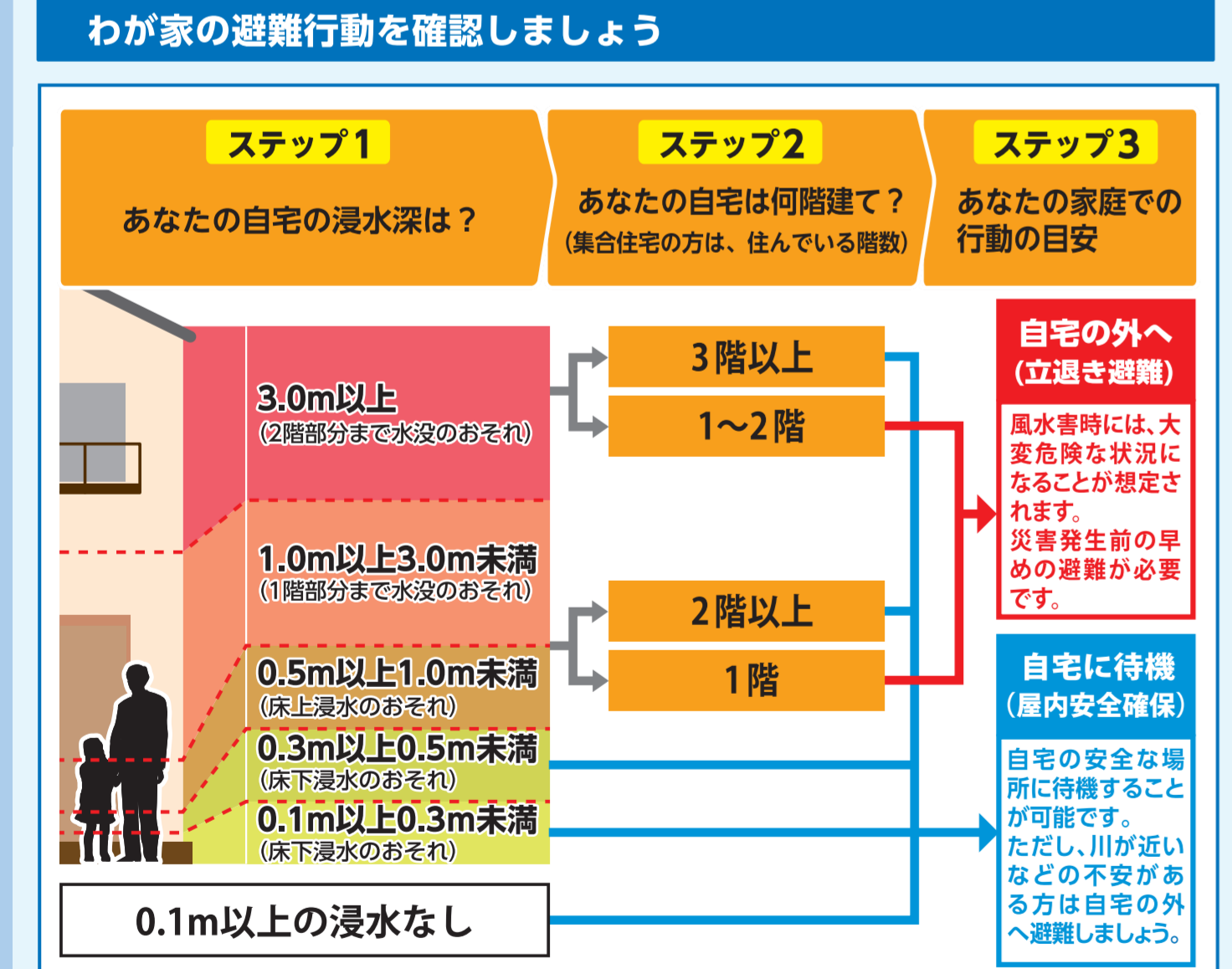
河川の近くや浸水深が大きくなる地域、土砂災害のおそれのある地域など、そこにいることが危険な場合は、避難場所などへ立退き避難をしましょう。**立退き避難は災害が発生する前に行うことが原則です。**

#### 屋内安全確保（垂直避難）

屋外へ出ることが危険な場合は、状況に応じて自宅に留まり2階へ移動するなど、屋内安全確保をしましょう。

## 風水害時のわが家の避難行動

ハザードマップで自宅などを確認し、下図から風水害時にとるべき行動を確認しましょう。  
※ここに示すのは、風水害時にとるべき行動の目安であり、絶対的なものではありません。身の危険を感じたら命を守る行動をとってください。



### 自宅の浸水深と階数を確認し、とるべき避難行動を確認しましょう。

自宅の水害リスク		とるべき避難行動
自宅の浸水深	自宅の階数	
<input type="checkbox"/> 0.1m以上の浸水なし	<input type="checkbox"/> 1階	<input type="checkbox"/> 立退き避難 避難先： _____
<input type="checkbox"/> 0.1m以上0.3m未満	<input type="checkbox"/> 2階	<input type="checkbox"/> 立退き避難 避難先： _____
<input type="checkbox"/> 0.3m以上0.5m未満	<input type="checkbox"/> 3階以上	<input type="checkbox"/> 立退き避難 避難先： _____
<input type="checkbox"/> 0.5m以上1.0m未満		<input type="checkbox"/> 立退き避難 避難先： _____
<input type="checkbox"/> 1.0m以上3.0m未満		<input type="checkbox"/> 立退き避難 避難先： _____
<input type="checkbox"/> 3.0m以上		<input type="checkbox"/> 立退き避難 避難先： _____

お問い合わせ先 清水町役場 暮らし安全課 防災対策係 電話：055-981-8205

## 家庭でできる浸水対策

住宅の周辺が浸水すると、下水が逆流して、トイレ、風呂や洗濯機の排水口などから水が噴き出すことがあります。ビニール袋に水を入れた水のうを置く、逆流を抑える効果があります。

#### 簡易水のうの作り方

450程度の容量のごみ袋を二重にし、中に半分程度の水を入れます。(持ち運べる程度)

#### 排水口からの逆流防止

風呂やトイレなどの排水口から逆流した水が溢れる場合があります。水のうを栓することで防ぐことができます。

#### 側溝などの清掃

日頃から道路の側溝や雨水ますの集水口に落ち葉などが詰まっていないか確認しましょう。詰まっていたら、取り除いておきましょう。

#### 土(水)のう・止水板

出入口に土のうや止水板などを設置し、浸水を防ぎましょう。

#### 土のうステーションをご利用ください

清水町では、町民の皆様がいつでも土のうを持ち出しやすいように、土のうステーションを設置しています。ぜひご利用ください。

清水町土のうステーション 検索

### 非常持ち出し品(チェックリスト)

災害時に必要なものは、持ち出しやすい場所に置いておきましょう  
太字のものは常時携帯しましょう

食	衛生	生活用品	貴重品	情報
<input type="checkbox"/> 飲料水 (1人1日2日程、常時携帯は500ml程度)	<input type="checkbox"/> 携帯トイレ (トイレは我慢できない)	<input type="checkbox"/> 大判ハンカチ・手ぬぐい (マスク、止血など多機能)	<input type="checkbox"/> 現金 (身分証明書(コピー) (健康保険証、免許証、パスポートなど)	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ・予備電池 (正確な情報収集)
<input type="checkbox"/> 携帯食 (チョコレート、あめ、栄養機能食品など)	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ (口腔ケア用ウェットティッシュが便利)	<input type="checkbox"/> ポリ袋・レジ袋 (大・中・小) (応急手当、調理など多機能)	<input type="checkbox"/> 預金通帳 □ 印鑑	<input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 (電池式がおすすめ)
<input type="checkbox"/> 非常食 (乾パン・缶詰などの調理不要なもの)	<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー・トイレットペーパー (トイレットペーパーが便利)	<input type="checkbox"/> タオル (汚れ拭きとり、感染症対策など多機能)	<input type="checkbox"/> 保険証	<input type="checkbox"/> 筆記用具・メモ帳 (情報をメモ・家族などへの伝言)
<input type="checkbox"/> ガムテープ・マジック (家族への伝言メモ)	<input type="checkbox"/> マスク (感染症対策、防塵) □ 体温計 (感染症対策)	<input type="checkbox"/> タオル (濡れ拭きとり、感染症対策など多機能)	<input type="checkbox"/> 常備薬 (自分である程度確保)	<input type="checkbox"/> ガムテープ・マジック (家族への伝言メモ)
<input type="checkbox"/> 連絡先メモ (家族の連絡先別記)	<input type="checkbox"/> 消毒液・手袋 (感染症対策)	<input type="checkbox"/> 新聞紙 (紙食器、骨折の応急処置の添え木、緊急用トイレなど多機能)	<input type="checkbox"/> 常備薬 (自分である程度確保)	<input type="checkbox"/> ガムテープ・マジック (家族への伝言メモ)
	<input type="checkbox"/> 万能ナイフ (ハサミ、ナイフなど多機能)	<input type="checkbox"/> 新聞紙 (紙食器、骨折の応急処置の添え木、緊急用トイレなど多機能)		<input type="checkbox"/> ガムテープ・マジック (家族への伝言メモ)
		<input type="checkbox"/> 万能ナイフ (ハサミ、ナイフなど多機能)		<input type="checkbox"/> ガムテープ・マジック (家族への伝言メモ)

**3日分以上の水・食料を備えておきましょう。**  
災害発生直後は、支援物資が届くまで時間がかかることを想定し、最低3日分以上(できれば1週間分)の水と食料を備えておきましょう。水と食料は、命を守り、英気を養うことにつながりますので、自分と家族の3日分以上は、必ず備えておきましょう。

**風水害時に避難する緊急避難場所について**  
緊急避難場所は、一時的な避難をする場所であり、被災後に生活をする避難所とは異なります。そのため、物資の提供は基本的には行われないため、各自に必要なものを持参してください。

## 避難時の注意事項

#### 正確な情報収集と自主的な避難を

ラジオ・テレビ・インターネットなどで最新の気象情報、災害情報、避難情報を収集しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

#### 流れのある場所は近づかない

ゆっくりとした流れでも、高さになると危険です。水路や河川など流れのある場所には近づかないようにしましょう。橋にも注意が必要です。

#### 地下道や地下歩道

地下道や地下歩道は、浸水時には周辺から水が流れ込んで冠水するおそれがあり危険です。

#### 浸水している場所は注意が必要

浸水している場所は側溝やマンホールのふたが外れた箇所などに転落するおそれがあり危険です。長い棒などで確認しながら歩きましょう。

### 既往浸水箇所・避難時危険箇所について

本ハザードマップの作成にあたり、清水町では地区ごとに5回、地区意見交換会を実施しました。地区意見交換会でいただいた情報は、既往浸水箇所及び避難時危険箇所として地図面に反映しています。

#### 既往浸水箇所

大雨・台風などの際に道路冠水が確認された場所です。

#### 避難時危険箇所

避難の途中で、道路冠水や土砂災害などにより危険が生じるおそれがある場所です。

## 風水害時の避難行動

風水害は事前にある程度予測することができる災害です。災害の状況に応じてどのような行動をしたら良いか事前に確認しましょう。

### 事前準備

- ハザードマップを確認し、自宅の水害リスク・避難方法・避難先などについて確認しましょう。
- 家庭でできる浸水対策をしましょう。
- 非常持ち出し品の準備をしましょう。

### 避難準備

- インターネット、テレビなどで情報を集めましょう。
- 同報無線、町防災アプリ、町公式LINE、ホームページなどで町からの情報を確認しましょう。
- 避難時の注意事項、危険箇所などを確認しましょう。

### 災害が発生する前に避難行動を開始しましょう

#### 立退き避難

避難場所などへの避難は、動きやすい服装で、可能な限り2人以上で避難しましょう。道路側溝やマンホールなど、足元に注意し、河川、がけの近くなど危険な場所に近づかないようにしましょう。可能であれば高齢者、妊婦、子ども、体の不自由な方などの避難に協力しましょう。

#### 分散避難

親戚や知人宅、ホテルなど、安全を確保することができる場所へ移動することも避難行動です。混雑を避けるため分散避難することを心がけましょう。

### 情報入手先

積極的に正しい情報を入力し、避難行動につなげましょう。

#### 同時通報系防災行政無線 (通称:同報無線)

同報無線の放送を聞き取ったときに、放送内容を確認することができる専用ダイヤルです。

**055-973-0202**

#### 同報無線音声自動応答サービス

同報無線の放送を聞き取ったときに、放送内容を確認することができる専用ダイヤルです。

**055-973-0202**

### 国・県の提供する情報

#### 静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」

各種緊急情報の通知から、ハザードマップの確認、災害時に幅広く役立つスマートフォン向けアプリです。

#### 静岡県防災ポータル

静岡県の気象の警報・注意報のほか、防災・災害情報などが確認できます。